

# フェニックス3期神戸沖埋立処分場（仮称）設置事業に係る 環境影響評価方法書に関する審査会意見骨子案

## 1 全般的事項

### (1) 環境影響評価の実施の方針

○六甲アイランド南建設事業で現在実施中の事後調査結果も活用して、精度の高い調査・予測・評価を実施する必要がある。

### (2) 災害時の対策

○台風、地震、津波等の災害により、護岸等の遮水性が損なわれ、埋立廃棄物や内水が外部に流出しないよう、実行可能な範囲でより良い技術を採用する必要がある。

### (3) 搬入施設までの廃棄物の輸送

○搬入施設までの廃棄物運搬車両の通行に伴う環境影響について調査・予測・評価を行い、その結果を周辺住民等に丁寧に説明することが望ましい。

## 2 個別的事項

### (1) 大気質

○光化学オキシダントや微小粒子状物質の原因物質である窒素酸化物及び硫黄酸化物の排出を可能な限り抑制する必要がある。そのため、処分場内の埋立・覆土用機械の稼働に伴って排出される窒素酸化物及び硫黄酸化物について、調査・予測・評価を実施することが望ましい。

### (2) 水環境

○当該海域における現況の潮流を適切に把握した上で、六甲アイランド南建設事業の事業区域が完成した後の潮流を予測し、その結果を踏まえて、水の濁り及び水の汚れに係る調査・予測・評価を適切に実施する必要がある。

○2期神戸沖埋立処分場と3期神戸沖埋立処分場の相乗的な影響も含めて、調査・予測・評価を実施する必要がある。

### (3) 動物・植物・生態系

○既存の文献その他の資料調査では、特定外来生物に関する情報を十分に収集できない可能性があることから、現地調査を組み合わせることで適切に調査・予測・評価を実施する必要がある。

#### (4) 景観

○最終処分場の存在による主要な眺望景観の改変の程度について、フォトモンタージュ法により予測を行うとされているが、実際の施設の色彩や形状等が正しく認識できるように、景観の予測結果を分かりやすく準備書に記載する必要がある。